

# 錦江校区まちづくりプラン ( 錦江校区振興計画 )



クロツラヘラサギ

平成29年2月25日

錦江校区コミュニティ協議会

# 《 目 次 》

はじめに	.....	1
I 錦江校区の概要		
1. 錦江校区の地理・地域	.....	2
2. 錦江校区の人口・世帯数	.....	3～7
3. 錦江校区まちマップ	.....	8
4. 錦江校区の特色ある風景・史跡等	.....	9～13
5. 錦江校区コミュニティ協議会の組織体制	.....	14
II 錦江校区がめざす将来像	.....	15
III 錦江校区の現状と課題		
1. 専門部別スローガン、基本方針、現状と課題	.....	16～20
IV 主な取り組みと役割分担	.....	21～23
V 計画の推進に向けて	.....	24
VI 資料編	.....	25
1. 「地域内事業所・団体を対象とするアンケート調査」実施報告	.....	26～27
2. まちづくりプラン計画策定の経過	.....	28
3. 錦江校区まちづくりプラン策定委員会委員	.....	29

## はじめに

私どもの錦江校区は、東に網掛川、西に別府川、北はJR日豊本線、南は錦江湾(鹿児島湾)に囲まれた生活環境に恵まれた地域です。

合併前の平成21年、旧加治木町の段階で、これまでの地区公民館を統合し小学校ごとの校区公民館制度がスタートしました。その後、旧始良町、旧蒲生町との3町合併によって始良市が誕生し、平成27年校区公民館は「校区コミュニティ協議会」と名称を変更、現在2年目を迎えています。

地域住民みんなによる「まちづくりプラン」を策定するために、平成28年5月各地区代表者5名、協議会役員7名、計12名の委員からなる「まちづくり策定委員会」を設立、現状や課題の分析、将来像や取り組み等について検討を進めてまいりました。

できるだけ多くの住民の皆さんが参加して作成することが重要と考え、校区内の企業、各種団体等へのアンケート調査や平成24年に実施した「錦江小校区ワークショップ」等を参考としながら、取り組みを進めてきたところです。

私どもの錦江校区は、校区公民館時代からすべての事業を通して、地域住民の友好と親睦を最優先として、お互いの絆を深め、安心、安全で住みやすい「まちづくり」を目指すことを柱に活動してきました。新たに発足したコミュニティ協議会においてもその基本は変わることはありません。

人間関係が希薄になっている現在、コミュニティ活動や近所づきあいを通して、お互いの絆を深めることがもっとも重要です。「まちづくりプラン」の最大の目標は、まさにこのことに尽きると思います。

錦江校区コミュニティ協議会は、今後「まちづくりプラン」を最大の柱として活用し、多くの地域住民の参加を得て、安心安全で住みやすいまちづくりを推進してまいります。

平成29年3月

錦江校区コミュニティ協議会  
会 長 加治屋昭弘

## I 錦江校区の概要

### ■ 地理・地域

錦江校区は、始良市の南東部、鹿児島(錦江)湾に面する平坦地に位置しています。同地域は西は別府川、東は網掛川、北はJR日豊本線に接し、県央に位置していることや鹿児島空港、高速道路加治木ジャンクションに隣接するなど、地勢的利便性から地域評価が高く、現在も事業所や商業施設、住宅等の集積が進んでいます。

また、錦江湾に面する調整池一体は、絶滅危惧種である「クロツラヘラサギ」など冬鳥の飛来地として近年脚光を浴びています。



### ■ 人口・世帯数

錦江校区は、近年、商工業施設の立地や宅地化が顕著で多くの自治会で人口の増加が見られます。また、世帯数も同様に増加の基調にあります。

校区は、大きく分けて東から錦江第1地区協議会(9自治会)、錦江第2地区協議会(7自治会)、錦江第3地区協議会(3自治会)の3地区(19自治会)で構成されています。

錦江1地区は、昔から続く商店や住宅、南部は新興住宅地からなり、錦江2地区は従来の住宅や新設住宅、アパートが数多く、錦江3地区は2地区同様住宅やアパート、企業の販売店等が立地する地区となっています。

錦江校区の人口(平成28年5月1日現在)は、5,503人、世帯数2,676世帯で、ここ5年間では多少の増減を繰り返しながらも1.02倍の増加となっています。

その内、高齢者(65歳以上)数は1,444人、高齢化率は26.2%で始良市の平均28.8%を下回る結果となっていますが、過去5年間の数値では平成23年度23.2%、平成24年度23.6%、平成25年度24.1%、平成26年度25.0%、平成27年度25.3%となり、年次ごとに高齢化が進行していることが伺えます。

1世帯当たりの平均世帯数は2.06人で、市平均の2.16人より0.1ポイント低く、核家族化が早い割合で進行し、少子化の傾向が数値の上でも示されたといえます。

錦江校区自治会別人口構成(年次ごと・総数)一覽表

		人口(年次別・総数)																	
	向江町	東塩入	中塩入	南塩入	郁文館住宅	西塩入上	西塩入中	西塩入下	西塩入団地	江口団地	西江口団地	岩原東	岩原西1区	岩原西2区	岩原西3区	岩原南	明神	須崎	豊町
H23.5.1	161	362	142	211	132	158	167	219	208	76	297	373	383	280	264	405	235	737	578
H24.5.1	150	335	142	215	131	153	172	218	220	70	285	371	379	289	266	432	227	729	605
H25.5.1	158	344	136	210	134	164	173	213	215	67	271	386	377	299	287	446	212	720	602
H26.5.1	159	348	140	223	129	164	157	220	271	63	278	374	362	298	290	446	244	709	604
H27.5.1	157	351	132	230	138	173	173	211	267	59	272	364	346	305	281	474	238	717	636
H28.5.1	159	318	132	225	123	172	175	210	258	54	283	338	345	309	276	498	247	716	665

錦江校区自治会別人口(年次ごと・男)一覽表

		人口(年次別・男)																	
	向江町	東塩入	中塩入	南塩入	郁文館住宅	西塩入上	西塩入中	西塩入下	西塩入団地	江口団地	西江口団地	岩原東	岩原西1区	岩原西2区	岩原西3区	岩原南	明神	須崎	豊町
H23.5.1	62	177	58	105	59	82	74	102	99	29	132	164	171	127	107	183	118	344	285
H24.5.1	65	163	54	109	56	80	77	101	104	28	130	170	174	128	109	195	112	336	299
H25.5.1	70	166	51	109	56	87	78	98	107	25	124	173	176	134	120	203	103	331	293
H26.5.1	71	169	49	115	54	90	70	105	139	23	131	165	165	131	125	203	115	329	291
H27.5.1	69	168	49	122	58	92	76	104	137	20	129	160	162	136	122	214	113	339	304
H28.5.1	70	150	46	116	50	91	79	96	131	19	134	148	160	137	116	230	119	335	316

錦江校区自治会別人口(年次ごと・女)一覽表

		人口(年次別・女)																	
	向江町	東塩入	中塩入	南塩入	郁文館住宅	西塩入上	西塩入中	西塩入下	西塩入団地	江口団地	西江口団地	岩原東	岩原西1区	岩原西2区	岩原西3区	岩原南	明神	須崎	豊町
H23.5.1	99	185	84	106	73	76	93	117	109	47	165	209	212	153	157	222	117	393	293
H24.5.1	85	172	88	106	75	73	95	117	116	42	155	201	205	161	157	237	115	393	306
H25.5.1	88	178	85	101	78	77	95	115	108	42	147	213	201	165	167	243	109	389	309
H26.5.1	88	179	91	108	75	74	87	115	132	40	147	209	197	167	165	243	129	380	313
H27.5.1	88	183	83	108	80	81	97	107	130	39	143	204	184	169	159	260	125	378	332
H28.5.1	89	168	86	109	73	81	96	114	127	35	149	190	185	172	160	268	128	381	349

錦江校区自治会別世帯数(年次ごと)一覽表

		世帯数(年次別)																	
	向江町	東塩入	中塩入	南塩入	郁文館住宅	西塩入上	西塩入中	西塩入下	西塩入団地	江口団地	西江口団地	岩原東	岩原西1区	岩原西2区	岩原西3区	岩原南	明神	須崎	豊町
H23.5.1	77	159	87	106	49	67	72	103	70	46	89	177	183	124	123	165	107	413	289
H24.5.1	70	154	93	106	51	69	74	104	74	42	86	174	184	127	129	172	103	422	312
H25.5.1	73	157	88	106	52	72	76	106	75	41	84	186	180	137	133	179	100	426	316
H26.5.1	73	164	92	108	51	67	69	108	100	39	85	182	174	136	134	176	122	426	315
H27.5.1	75	165	85	116	56	71	75	105	102	36	83	173	174	137	135	185	122	428	331
H28.5.1	75	159	89	112	52	72	73	105	105	33	86	173	178	132	140	191	125	434	342

錦江校区自治会別高齢者(65歳以上)人口及び高齢化率一覧表

		65歳以上人口(総数)及び高齢化率(下段)																	
	向江町	東塩入	中塩入	南塩入	柳文館住宅	西塩入上	西塩入中	西塩入下	西塩入団地	江口団地	西江口団地	岩原東	岩原西1区	岩原西2区	岩原西3区	岩原南	明神	須崎	豊町
H23.5.1	59 36.6%	88 24.3%	48 33.8%	39 18.5%	20 15.2%	38 24.1%	38 22.8%	53 24.2%	30 14.4%	31 40.8%	14 4.7%	102 27.3%	86 22.5%	64 22.9%	90 34.1%	58 14.3%	55 23.4%	238 32.3%	101 17.5%
H24.5.1	53 35.3%	88 26.3%	47 33.1%	43 20.0%	24 18.3%	38 24.8%	38 22.1%	55 25.2%	30 13.6%	31 44.3%	14 4.9%	107 28.8%	91 24.0%	64 22.1%	91 34.2%	59 13.7%	54 23.8%	238 32.6%	105 17.4%
H25.5.1	59 37.3%	88 25.6%	47 34.6%	44 21.0%	24 17.9%	38 23.2%	42 24.3%	58 27.2%	34 15.8%	31 46.3%	17 6.3%	112 29.0%	89 23.6%	66 22.1%	91 31.7%	60 13.5%	55 25.9%	241 33.5%	111 18.4%
H26.5.1	59 37.1%	86 24.7%	46 32.9%	47 21.1%	27 20.9%	39 23.8%	41 26.1%	55 25.0%	40 14.8%	31 49.2%	21 7.6%	114 30.5%	93 25.7%	68 22.8%	96 33.1%	68 15.2%	58 23.8%	259 36.5%	122 20.2%
H27.5.1	60 38.2%	88 25.1%	49 37.1%	52 22.6%	28 20.3%	40 23.1%	43 24.9%	57 27.0%	39 14.6%	28 47.5%	21 7.7%	116 31.9%	96 27.7%	70 23.0%	98 34.9%	73 15.4%	60 25.2%	260 36.3%	122 19.2%
H28.5.1	59 37.1%	91 28.6%	51 38.6%	51 22.7%	29 23.6%	41 23.8%	44 25.1%	61 29.0%	41 15.9%	27 50.0%	22 7.8%	117 34.6%	100 29.0%	73 23.6%	94 34.1%	78 15.7%	60 24.3%	270 37.7%	135 20.3%

## 錦江校区人口構成・高齢化率(自治会別)一覽表

平成28年5月1日現在

No	自治会	世帯数	男	女	合 計	高齢者 (65歳以上)	高齢化率
1	向江町	75	70	89	159	59	37.1%
2	東塩入	159	150	168	318	91	28.6%
3	中塩入	89	46	86	132	51	38.6%
4	南塩入	112	116	109	225	51	22.7%
5	郁文館住宅	52	50	73	123	29	23.6%
6	西塩入上	72	91	81	172	41	23.8%
7	西塩入中	73	79	96	175	44	25.1%
8	西塩入下	105	96	114	210	61	29.0%
9	西塩入団地	105	131	127	258	41	15.9%
10	江口団地	33	19	35	54	27	50.0%
11	西江口団地	86	134	149	283	22	7.8%
12	岩原東	173	148	190	338	117	34.6%
13	岩原西1区	178	160	185	345	100	29.0%
14	岩原西2区	132	137	172	309	73	23.6%
15	岩原西3区	140	116	160	276	94	34.1%
16	岩原南	191	230	268	498	78	15.7%
17	明神	125	119	128	247	60	24.3%
18	須崎	434	335	381	716	270	37.7%
19	豊町	342	316	349	665	135	20.3%
合 計		2,676	2,543	2,960	5,503	1,444	26.2%

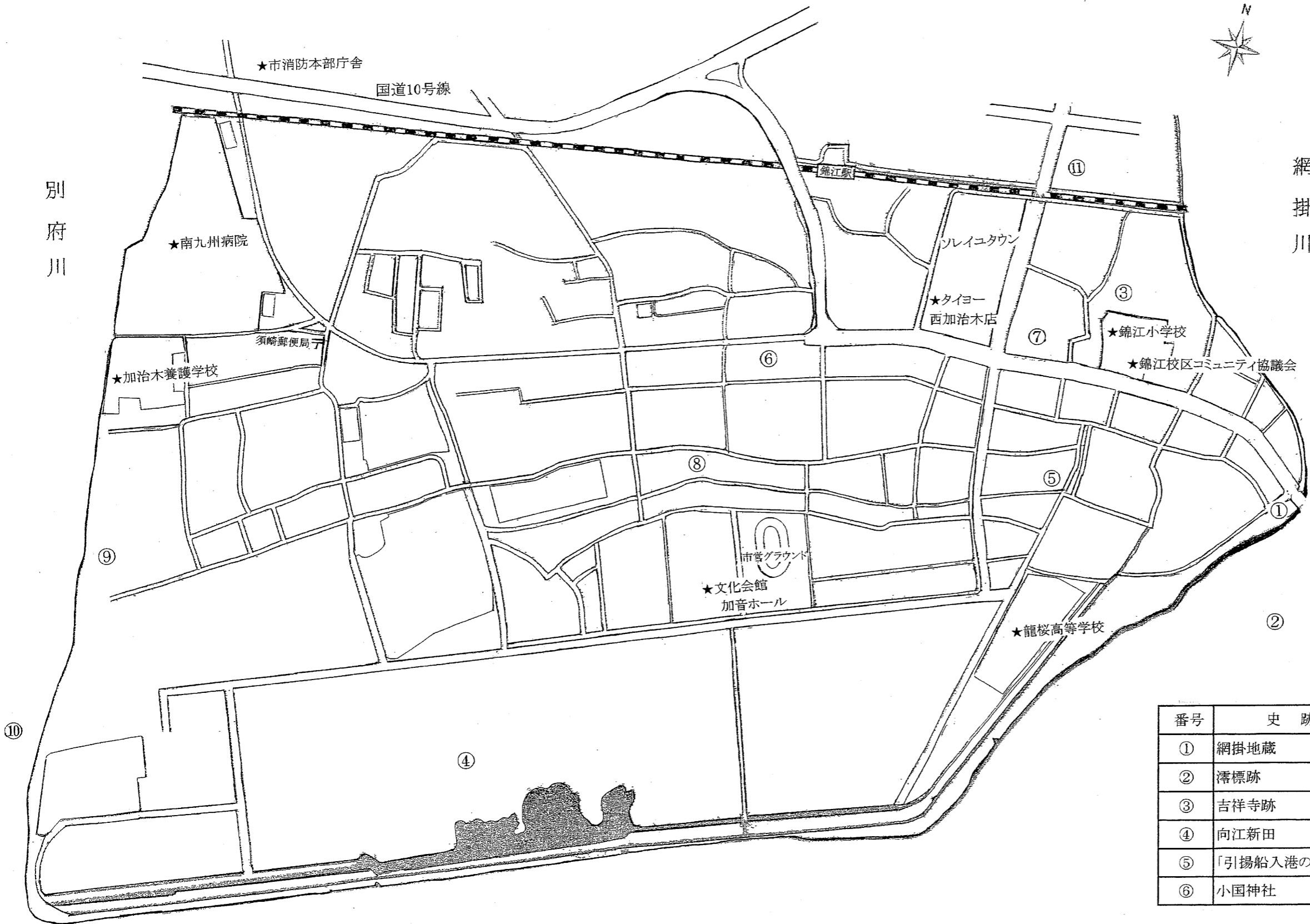


## 始良市高齢化率(校区別)一覽表

平成28年5月1日現在

No	校 区	世帯数	男	女	合 計	高齢者 (65歳以上)	高齢化率
1	柁 城	4,205	4,076	4,632	8,708	2,667	30.6%
2	錦 江	2,676	2,543	2,960	5,503	1,444	26.2%
3	竜 門	643	587	701	1,288	547	42.5%
4	永 原	414	335	410	745	415	55.7%
5	加治木	2,411	2,437	2,879	5,316	1,548	29.1%
6	帖 佐	2,731	2,958	3,275	6,233	1,618	26.0%
7	建 昌	3,243	3,159	3,710	6,869	1,587	23.1%
8	三 船	1,207	1,171	1,361	2,532	894	35.3%
9	重 富	4,602	4,487	5,059	9,546	2,916	30.5%
10	山 田	671	559	727	1,286	552	42.9%
11	北 山	240	167	221	388	260	67.0%
12	始 良	4,541	4,755	5,314	10,069	2,462	24.5%
13	西始良	1,538	1,770	1,916	3,686	937	25.4%
14	松原なぎさ	3,216	3,720	4,058	7,778	1,716	22.1%
15	蒲 生	2,886	2,847	3,244	6,091	2,256	37.0%
16	漆	171	118	152	270	150	55.6%
17	西 浦	158	143	168	311	118	37.9%
合 計		35,553	35,832	40,787	76,619	22,087	28.8%

# 始良市錦江校区地域図(まちマップ)



## 始良市指定避難所 (兼)指定緊急避難場所

番号	施設名称
1	文化会館「加音ホール」
2	加治木養護学校
3	市消防本部庁舎

## 始良市指定避難所

番号	施設名称
1	錦江小学校

## 津波避難ビル

番号	施設名称
1	タイヨー西加治木店
2	市消防本部庁舎

### ※ 指定避難所

被災者が一定期間生活する場所として指定された場所。

### ※ 指定緊急避難場所

被災者が一時的に難を逃れる緊急時の避難場所。

### ※ 津波避難ビル

津波発生時に、避難場所として指定された建物(ビル)。

番号	史跡等	番号	史跡等
①	網掛地蔵	⑦	郁文館跡
②	湊標跡	⑧	岩原八幡神社
③	吉祥寺跡	⑨	谷山初七郎の墓
④	向江新田	⑩	須崎
⑤	「引揚船入港の地加治木」碑	⑪	小鳥神社
⑥	小国神社		

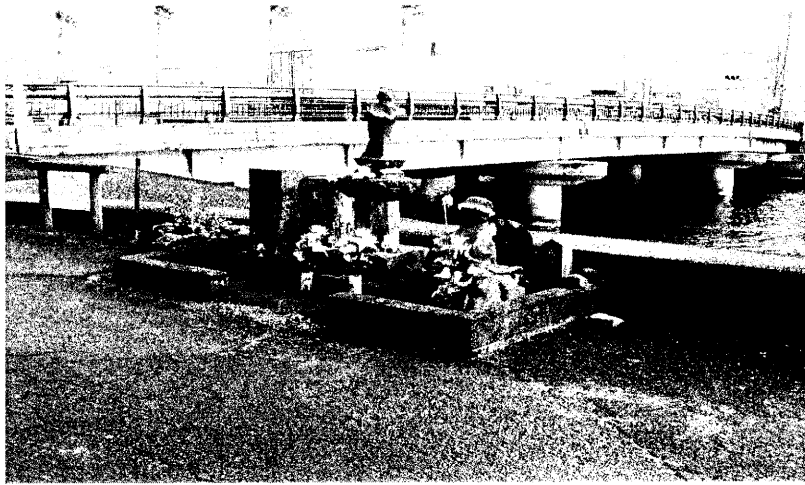
## 2. 錦江校区の特色ある風景・史跡等

### 1. 網掛地蔵(あみかけじぞう)

網掛橋の西のたもとの下手にある石の地蔵のこと。昔、漁師が網掛川尻に網を張っていたところ、地蔵の木像が掛かった。向江町の人々は、これを川岸の小さな庵に安置し信仰した。

この地蔵尊は霊仏の聞こえが高く、鹿児島から船を仕立てて参拝に来るほどであった。そこから、この川の名を網掛川、橋の名を網掛橋と呼ぶようになった。島津義久が鹿児島に移る際、ともに鹿児島に移されたが、その後向江町の人々によって新たに石の地蔵が建立された。

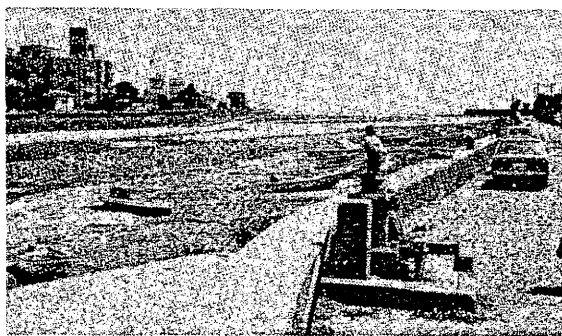
鹿児島市に「地蔵角」というところがあるが、ここはこの加治木の地蔵尊を安置したので名づけられたものといわれている。「山ノ口地蔵」がそれである。



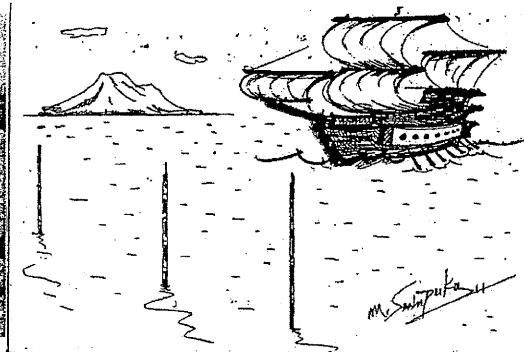
### 2. 湊標(みおつくし)

通行する舟に水路を知らせるために立てた標識、湊標が網掛川の川尻に三つあり、沖の湊標、中の湊標、潟の湊標と呼ばれていた。古くは日本三ヶの津(摂津、出雲、大隅に限られる)の一つと称され、特殊な港として著名である。

隅州(当時、加治木は大隅国に含まれていた。)の湊標は加治木の湊標と伝えられ、当時加治木に多くの船舶が出入りしていたかを物語るものである。



網掛川河口を望む



当時の湊標(相想図)

### 3. 吉祥寺跡(きつしょうじあと)

錦江小の背後にある墓地は、吉祥寺の跡である。慶長15年(1610年)、島津義弘の加治木移城後、かねてから帰依していた松岳全龍和尚を開山(初代住持)として建立したものである。

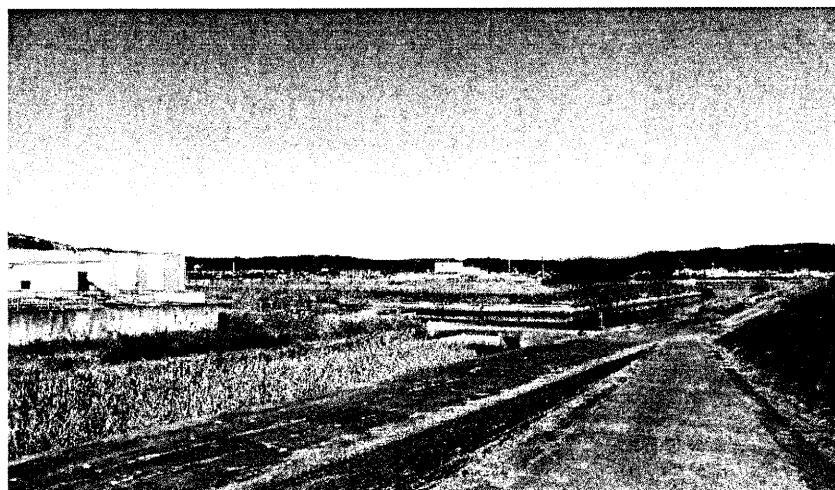
さきに義弘は、朝鮮に出兵するに当たり、武運長久を祈るため読経を命じたが、無事に帰国できたので、仏恩に謝するため、寺を建立した。寺名の宝殊山吉祥寺の吉祥は、祈願成就を吉祥としたためである。



### 4. 向江新田(むかえしんでん)

網掛川から別府川までの海岸2kmは、昔遠浅の砂浜であったが、これに大きな堤防を築いて海水の侵入を防ぎ、塩田や水田としたのが向江新田である。工事の着手は江戸時代後期、竣工は明治18年で、100ヘクタールの干拓地が造成された。当初は、製塩が盛んで四国の坂出をしのぐほどであった。

新田には三の水門と潮溜りがあるが、生活排水その他の流入に伴うヘドロの滞留で浅くなり、一面葦原となっている。須崎調整地付近は、大陸からの冬鳥の越冬地として脚光をあげ、バードウォッチングのメッカとなっている。近年においては、公共施設、住宅の建設、商工業等の施設の集積も進んでいる。



## 5.「引揚船入港の地加治木」碑

塩入橋近くに「引揚船入港の地加治木」の碑がある。昭和20(1945)年10月29日から12月8日までの間、加治木沖に引揚船が入港、26,780人が上陸、加治木から故国での第一歩を踏み出した。

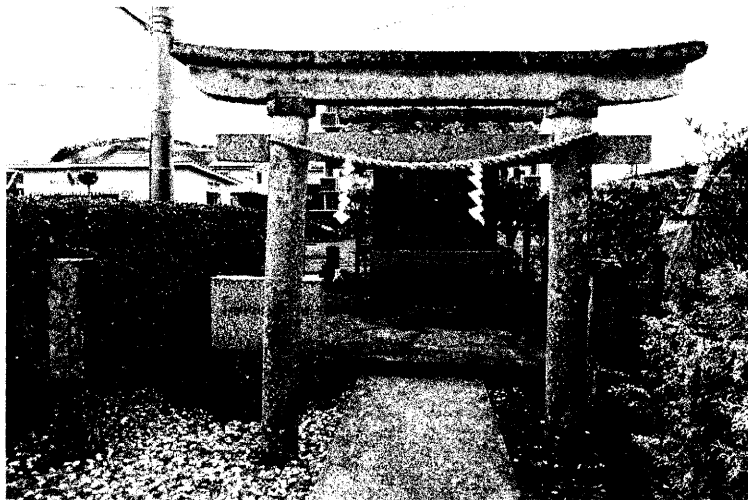
敗戦により木田地区海岸に引き揚げた人々の内、300余名(ほとんどが子ども)が上陸後、栄養失調、発疹チフス等で死亡した。



## 6.小国神社(おぐにじんしゃ)

岩原公民館の敷地内にある。岩原の人たちは親しみを込めて「アッカサア」と呼んでいる。「アッカサア」とは「秋葉様」のこと、つまり「火の神」のことであるが、昭和48年9月国道の道路拡幅工事に伴い今の位置に移転遷座された。

火難から守ってくれる神様が岩原集落に古くから祀られてきている理由としては、かつて鍛冶職を兼ねる郷士が多かったことによると考えられる。



## 7. 郁文館跡 (いくぶんかんあと)

大字木田、塩入の観音寺墓地東側にあった。明治23年7月25日、木田村民が小鳥小学校の訓導谷山初七郎の教育熱心に共鳴して、巨費を投じて学舎を新築し、郁文館と命名した。

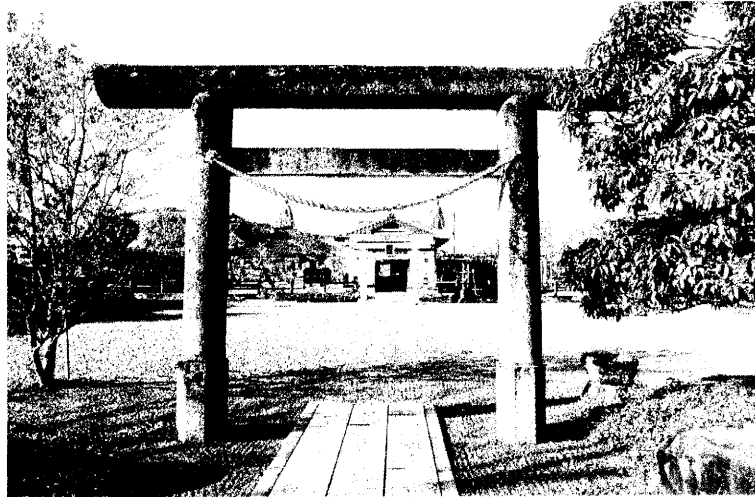
木田在住の上級生を収容し、午後は漢籍講義、夜間は、上級生の指導監督のもとに、学科の復習や墓地に御幣を立ててくる肝試しなどを行った。また、須崎地域に支部を設けて、水哉館と命名して夜学だけを行っていた。ここからも幾多の優秀な人材が輩出した。終戦後は休学状態にある。

## 8. 岩原八幡神社(いわばるはちまんじんしゃ)

古来、加治木郷大字木田字岩下にあったため岩下八幡と呼ばれてきた。祭神は、菅田和氣尊(応神天皇)大帯比古命(景行天皇)王依比売命・大鷦鷯尊(仁徳天皇)といわれている。

300余年前、加治木の領主島津義弘公が当神社の境内で休憩された折、神社の名前をお尋ねになり「今後弓箭(ゆみさ)八幡と改めよ」と言われたという記録がある(別名、若宮八幡とも呼ばれる。)。大正元年、須崎にあった塩釜神社を合祀した。

平成22年10月、神社の氏子である岩原郷中の人々によって湯湾岳の山麓岩下の地から岩原集落内に遷座し、名称を岩原八幡神社と改め管理維持されている。



## 9. 谷山初七郎の墓(碑)

明治20年代、小鳥小で教べんを取り、郁文館及びその支館としての水哉館(須崎にあった)で青少年を教えた谷山初七郎の墓が別府川に近い須崎の共同墓地にある。

頌徳(しょうとく)の碑文は、明治、大正、昭和にジャーナリストとして文名高い徳富蘇峰が撰し、東郷平八郎が書いたものである。文之和尚の墓発見や加治木(旧制)中学校の設立実現に尽力したほか、教育家として海外からの留学生の世話をみるなど国家社会に尽くした功績は偉大なものがあった。



## 10. 須崎(すさき)

別府川河口にできた洲の崎ということからこの名がある。昔時は、洲崎と書いていたが、現在は須崎。洲崎は古い港で、鹿児島との交通は、陸路は険しく、重富の白銀の坂を上って吉野に出て、そこから城下に降りていたので、勢い海運が盛んとなり加治木港とともに栄えた。

安政2年創設の鋼山製鉄所(弥勒西端に島津斉彬によって創設。主として藩用の銑鉄を製造。原鉱は、藩内の砂鉄のほか石見の国のもの。斉彬死後、間もなく明治5年ごろ廃止。)で造られた藩の鋼は、この洲崎から船で鹿児島方面に運ばれていた。



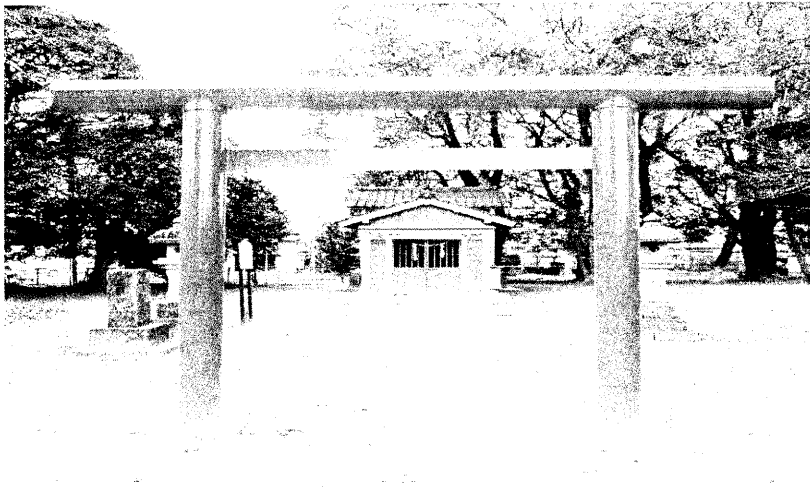
## 11. 小鳥神社(こがらすじんしゃ)

小鳥神社は、「鳥」を神として祭った神社。昔、加治木あたりでは鳥を神として祭る信仰が強く、家々で餅や小麦団子を作り、それを庭先の木などに下げ、コガライドン(鳥のこと)にあげる習わしがあった。

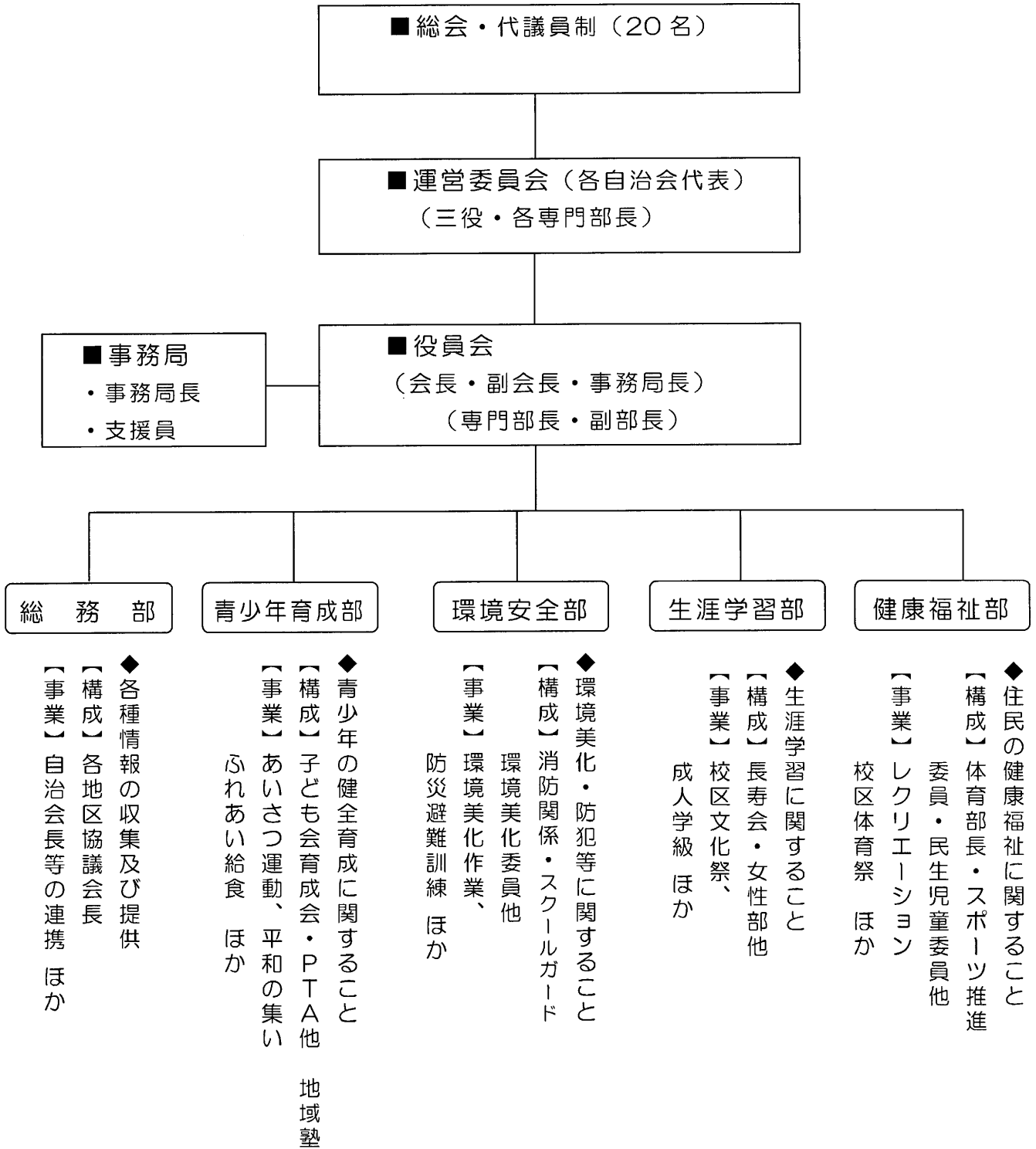
鳥は不吉な鳥としての感覚があるが、古くはヤタガラス神話でもわかるように、鳥を神の使いとして祭り、太陽を表現する意味にも使われていた。

一般的に「加治木鳥」という言い回しがあるが、解釈はおおよそ二通り。ひとつは、カラスのように賢くて、物おしせず個人的意見でもはっきり述べるという解釈、もうひとつは、カラスのようにずるくて賢い、また、言うことだけ「カアカア」主張するが実行が伴わず他人の足を引っ張るという解釈がある。

幕末、ここで寺小屋が開かれ、小鳥塾と呼ばれた。錦江小学校の前身「小鳥小学校」の名はここからきている。



## 錦江校区コミュニティ協議会組織図





## Ⅱ 錦江校区がめざす将来像

錦江校区の将来像の中心に「安心」、「安全」を据えました。快適で住みよいまちづくりにとって、まず、この二つがもっとも大切に欠かせない要件と考えたからです。

みんなでいっしょに築き上げようという思いも、同時に含んでいます。

錦江校区は、新旧色々な人たちや事業所などで構成された都市型に近い地域です。「一人ひとりにやさしいまち」は、互いの立場の違いや異なる環境を乗り越え、相手を分かり合い、尊重し、みんなで助け合う、そんなやさしいまちを願って定めたものです。

### 1. 将来像

安心安全 一人ひとりにやさしいまち 錦江校区

### Ⅲ 分野別スローガン、基本方針、現状と課題

将来像を達成するために、以下に示す5つの部会ごとに「スローガン」「基本方針」「現状」「課題」を掲げ、実現に向けて行動します。

《 専門部毎 》

専門部名	総務部
スローガン	助け合い 支え合う 住みやすいまち 錦江校区
基本方針	錦江校区コミュニティ協議会すべての活動を通して、校区住民の友好と親睦を図り、絆を深め、安心安全で住みやすいまちづくりを推進する。また、代議員総会・運営委員会・役員会の機能強化と各種団体や市内の各コミュニティ協議会との連携を図る。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代議員総会や運営委員会・役員会では、活発に積極的な意見交換がなされ、充実した会になっている。</li> <li>・ 錦江校区は、市の南東部に位置し、公共施設や商業施設も近くにあり、暮らしやすい地域であるが、最近アパートや集合住宅の増加により、新旧住民のコミュニケーションが希薄になっている。(自治会未加入者の増加)</li> <li>・ 校区内の各種団体や企業との連携が進んでいない。</li> <li>・ コミュニティ協議会の事業内容が校区住民に周知徹底されていない。</li> <li>・ 校区公民館時代から住民のコミュニティ活動に対する協力体制は良好であるが、積極的に参加する状況ではない。</li> <li>・ 実施事業名 代議員総会、運営委員会、役員会、校区コミュニティ協議会だよりの発行、各種団体との交流会。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティ協議会行事に多くの住民が参加できる体制づくりに努める。</li> <li>・ 日常において地域住民どうしが助け合い、支え合える組織づくりを構築する。</li> <li>・ 若い世代のコミュニティ活動への参加促進を図る。</li> <li>・ 自治会加入促進と自治会との連携をさらに進める。</li> <li>・ 世代間交流を促進することで地域全体の活性化を図る。</li> <li>・ 財政難に対応する営業活動(各団体や企業との協働)を推進する。</li> <li>・ 幅広く地域の声を聴く体制づくりを構築する。</li> <li>・ 道路整備と安心して遊べる公園の整備充実に向けて、行政への働きかけを行う。</li> <li>・ コミュニティ協議会へのトイレ設置を要望していく。</li> </ul>

専門部名	青少年育成部
スローガン	子どもは宝 社会の子ども 地域みんなで見守り育てる
基本方針	<p>親や教師だけでなく自治会や高齢者会など地域と一体となって、体験やふれあい活動を進めながら子どもたちの豊かな人間性を育てる。また、子どもたちの安全と見守りについて学校と協力して継続し充実させていく。</p> <p>錦江校区が子どもたちの「ふるさと」となるよう郷土を知る機会を充実させるとともに、加治木空襲を語り継ぐ「平和の集い」を継続発展させ、将来にわたって郷土と平和を愛する子供たちを育成する。</p>
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育祭や文化祭など幼稚園や保育園、小中学校との連携が緊密で、相互理解が進んでいる。</li> <li>・ 地域社会の中に、七草や六月灯、十五夜などふるさとの行事を受け継ぐ取り組みがなされている。</li> <li>・ 子どもたちの安全対策に取り組むスクールガード等の地域環境づくりがなされている。</li> <li>・ 集いを通した「次世代に語り継ぐ平和」に対する取り組みが充実している。</li> <li>・ 棕文学の読書会はあるが、多くの史跡、文化に子どもたちがふれあう機会が不足している。</li> <li>・ 子どもたちを取り巻く様々な課題について対応できていないところがある。</li> <li>・ 実施事業名 朝のあいさつ運動、読書に親しむ会、8・11空襲の日平和の集い、ふれあい給食会、親子料理教室。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちに安全で、良好な教育環境づくりを進める。</li> <li>・ 大人が手を携えて、子どもたちを育てるふれあいの場づくりを進める。</li> <li>・ 加治木空襲の史実から、平和を追及する子どもの育成をさらに充実させる。</li> <li>・ 地域の行事や体験活動を伝承し、史跡学習などふるさとを大切に思う気持ちを育てる。</li> </ul>

専門部名	環境安全部
スローガン	人が住みやすい 安心・安全なまちづくり
基本方針	散らさない、汚さない、清潔なまちづくりを行い、災害時における意識の向上を促し、地域住民が助け合って避難できる体制づくりを目指す。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における事前準備、災害とはどのようなものか等、もしもの時に備えて防災学習会を講師を招き、実施している。</li> <li>・高齢者の交通事故防止及び振り込め詐欺防止の講習会を実施し、被害にあわないような手立てや各種情報の提供を行っている。</li> <li>・錦江湾クリーンアップ作戦として、夏、秋の2回清掃作業に参加している。参加することで環境汚染の防止や水質汚濁防止、意識の啓発につながるものと考えている。</li> <li>・災害時における消火器の使用と消火器の詰め替えを行った。消火器の使用の手順を覚え、非常時の際冷静に行動することができるよう、体験型学習を行っている。</li> <li>・自然の中で人と野鳥が共存する環境づくりの大切さを知る機会として、環境学習講座を実施している。</li> <li>・実施事業名  スクールガード、高齢者講座(交通教室)、錦江湾クリーンアップ作戦(夏・秋)、防災避難訓練、環境学習講座。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における危険場所、避難経路、避難場所等の確認のために、地域全体で行政と一体となって避難訓練を実施する。</li> <li>・環境保全については、野鳥保護のための清掃作業を行う。</li> <li>・空き家対策は、地域と行政が一体となって考える必要がある。</li> </ul>

専門部名	生涯学習部
スローガン	交流と生涯学習で深めよう 地域の文化
基本方針	生涯学習を通して、生きがいと活力ある地域コミュニティの構築を目指す。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人講座として手芸や陶芸・歴史講座など年に数回実施している。参加者の募集は、コミュニティ協議会からの募集チラシや個人的な声かけで進めているが、それでも募集に苦慮している。</li> <li>・ 文化祭は年々認知度も高まり、多方面から多様な作品が集まってきている。見学者も年々多くなりつつある。出品者との懇談会を実施し交流を深めている。小学校・中学校・養護学校に出品依頼し、出展に応じてもらっている。</li> <li>・ 成人講座、文化祭ともに定着しつつあるが、一部の方々の参加に偏っている部分もある。地域での生涯学習の広がりとして、自治会単位で文化活動をしているところもある。</li> <li>・ 実施事業名  校区文化祭、成人講座(手芸教室1・2、陶芸教室、地域を知る)。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人講座には、参加したい方がだれでも参加できるような募集方法を考える。希望があれば、同好会として同じ趣味を持つ人で校区公民館(コミュニティ協議会)を拠点にした活動をする。</li> <li>・ 文化祭の作品展示は、募集・搬入を含め自治会長を中心に声かけの徹底を図って、成人講座での作品は文化祭に出品してもらおうようお願いし、より多くの生涯学習人口の増につなげる。</li> <li>・ 文化祭の見学者増のために、今後も小学校の学習発表会の日程に合わせ実施するとともに、校区外のコミュニティ協議会へも案内をしていく。</li> <li>・ 自治会未加入世帯への文化祭開催の周知や募集・作品搬入の方法を考える。</li> <li>・ サロン、高齢者会等との連携。</li> </ul>

専門部名	健康福祉部
スローガン	きばいもんそ たのしもんそ 健康・体力づくり
基本方針	校区住民の健康増進と体力の向上を図り、医療に頼らない健康生活を目指す。
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニュースポーツ(スポーツ吹き矢、スポンジテニス、ペタンク)を紹介し、障害者を含めた中・高年齢層の健康づくりの機会を提供している。</li> <li>・ ウォーキング愛好者(主に中高年)に、より効率的で効果の上がる方法を紹介し、健康増進活動を支援している。</li> <li>・ 幼児や小学生から高齢者まで各年代層が参加する体育祭を企画、実施している。</li> <li>・ ミニバレーボール大会を企画し、幅広い層の健康づくりや一体感の醸成を支援している。</li> <li>・ 高齢者が同好会活動としてゲートボール、グラウンドゴルフに親しんでいる。</li> <li>・ 地域公民館で高齢者の方々を中心に「いきいき健康体操」を実践している。</li> <li>・ 実施事業名  さちかぜ夏まつり、校区体育祭、校区ミニバレーボール大会、校区対抗スポーツ大会、赤い羽根共同募金、健康・体力UPの集い。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ行事に行動や体力に制約のある弱者(主に中高年齢層)の方の参加が少ない。</li> <li>・ 校区公民館での講座開催は、住まいと遠距離の人の参加が難しく、参加者が限られてしまう。各地域公民館に出向き、身近で、気軽に参加できる方策を検討する必要がある。</li> <li>・ 校区コミュニティ協議会等が主催する各種スポーツイベントの地域住民への情報提供、参加呼びかけが不足している。</li> <li>・ 校区コミュニティ協議会が継続してスポーツに親しむことのできる特色ある種目を指定し、支援する。(ペタンク・スポーツ吹き矢)</li> </ul>

#### IV 主な取り組みと役割分担

##### 専門部別課題及び役割分担

担当部	部門	課題	役割分担	実施時期	備考	
総務部	環境・自然	土地の管理・整備(空き地・空き家対策)	協働	長期		
		地区内の排水対策	行政	長期		
		コミュニティ協議会トイレ設置	行政	短期		
	安全・安心	錦江湾岸の道路整備	行政	行政	長期	
		安心して遊べる公園	行政	行政	長期	
		生活道路の安全確保	協働	協働	短期	
		道路網の整備・改善	行政	行政	長期	生活道路
	福祉	独居老人対策(地域内把握)	協働	協働	短期	
		コミュニティ協議会の起業(協働模索)	地域	地域	長期	
		地域内事業者、団体との連携	地域	地域	短期	
地元商店街の活性化		協働	協働	長期		
雇用の活性化		行政	行政	長期	働きやすい企業、働きやすい環境	
自治会未加入者対策		協働	協働	中期		
生活	地域の連絡網の整備	協働	協働	中期		
	元気なあいさつ(声かけ運動)	地域	地域	短期	指導	
	食品ロスの解消	協働	協働	中期		
文化・教育	公園構造(作りの充実、あり方	行政	行政	長期		

担当部	部門	課題	役割分担	実施時期	備考	
青少年育成部	生活	子ども食堂(子どもの貧困対策)	協働	中期		
		元気なあいさつ(声かけ運動)	地域	短期	指導	
	文化・教育	校区民の子どもの健全育成	地域	短期	短期	指導
		文化財の保護、再発見	協働	長期		
		世代間交流の促進	地域	短期		
		先人の知恵を後世に引き継ぐ	地域	短期		
		伝統を受け継ぐ	地域	短期		
		教育環境の健全化	協働	長期		
		教育組織全体の交流連携	地域	中期		(幼・保・小・中・高)
		世代間交流の促進	地域	短期		
健康福祉部	福祉	健康づくり(ラジオ体操・夏休み)	地域	短期		
		施設慰問	地域	短期		
	生活	助け合い活動の促進	地域	中期		
		子ども食堂(子どもの貧困対策)	協働	中期		



担当部	部門	課題	役割分担	実施時期	備考
生涯学習部	生活	サロンの活性化(ふれあい・語り場の充実)	地域	中期	
	文化・教育	文化財の保護、再発見	協働	長期	
		伝統を受け継ぐ	地域	短期	
		成人講座の充実	地域	短期	
		文化祭の充実	地域	短期	
環境安全部	環境・自然	ゴミ処理	協働	中期	ゴミ袋への記名
		自然を汚さない。(校区内クリーンアップ作戦)	協働	短期	
	安全・安心	土地の管理・整備(空き地・空き家対策)	協働	長期	
		防災用備品の確保(緊急対応用)	協働	中期	

※役割分担や実施時期

役割分担		実施時期
地域	校区内で取り組むこと	短期 1～2年で取り組む
協働	校区と行政が共同で取り組むこと	中期 3～5年で取り組む
行政	行政が取り組むこと	長期 6～10年で取り組む

## V 計画の推進に向けて

以上のように、『安心安全 一人ひとりにやさしいまち 錦江校区』の実現に向けて、また、錦江校区コミュニティをさらに発展させていく上で、取り組むべきことは多くあります。

現状では取組みの裾野は徐々に広がりつつありますが、一部の人に責任や負担が偏ったり、活動する人が限られたり、地域に住む人の意向が活動に十分反映されているかなど、地域づくりを進める上で数々の課題があります。

今後は、以下のように取り組んでいきます。

- 今回策定した「錦江校区まちづくりプラン(校区振興計画)」を、地域全体の計画とするために、全住民への周知に取り組み、理解を図ります。
- まちづくりプランを推進していくためには、地域づくりのための仕組みづくりが必要です。校区コミュニティを中心に地域住民、自治会、事業所、団体、行政などと互いに連携を深めながら一体となって事業を推進します。
- まちづくりの推進にあたっては、地域に何が必要で、何に取り組めばよいか、また予算の配分等、皆さんの総意に配慮しながら事業の推進に努めます。
- まちづくりプランの推進にあたっては、老若男女、各界各層広く多様な意見をいただき進めることが重要となります。そのため地域内の人的資源の掘り起こしに努めます。
- まちづくりプランは、計画の進捗状況や現況等に合わせて必要に応じ実施内容の見直しを行うこととします。改正にあたっては、校区コミュニティ協議会、行政間で内容を精査し、総会に提案することとします。

## VI 資料編

1. 「地域内事業所・団体を対象とするアンケート調査」実施報告
2. 計画策定の経過
3. 錦江校区まちづくりプラン策定委員会委員

## 「地域内事業所・団体を対象とするアンケート調査」実施報告

## 実施目的

錦江校区の目指す「まちづくり」の一つに、校区住民と域内で活動する事業者、団体がともに手を携え、活気あるまちづくりを進めていくことがあります。

近年、域内への事業所(団体)の立地が進み、事業所(団体)の増加は錦江校区の一つの特色となっています。この傾向は地域の活性化につながる反面、地域との直接的つながりが希薄な状態を作り出し地域コミュニティの醸成にとって懸案となっています。今回、まちづくりプラン策定を契機として域内事業所(団体)とともに「まちづくり」ができないか、また、含めて事業者の方々とのコンセンサス形成の可能性について70社(団体)を対象とする意向調査を実施しました。

○ 実施日 平成28年11月11日～30日 ○ 対象事業所(団体)数 70社(団体)

○ 回答事業所数 31社(団体) ○ 回答率 44.29%。

## 調査内容及び結果

## 1. 地域への活動参加について

- |                    |          |         |
|--------------------|----------|---------|
| ① 積極的に参加してみたい。     | 7 社(団体)  | 22.58 % |
| ② 要請があれば、参加してもよい。  | 15 社(団体) | 48.39 % |
| ③ 事業が多忙のため、参加は難しい。 | 6 社(団体)  | 19.35 % |
| ④ その他              | 3 社(団体)  | 9.68 %  |

## 2. 参加可能な活動について(複数回答可)

- ① ボランティア活動 15社 (48%)、② 会議 12社(39%)、③ 文化祭 7社(23%)、  
④ 物品の提供 6社(19%)、⑤体育祭 4社(13%)、⑥その他 (レクリエーション参加、  
地域サロンへの協力など) 3社(10%)、⑦ こども食堂 1社(3%)  
⑧ 地域との共同起業 1社(3%)

## 4. 結果分析

- ① 域内事業所(団体)の地域へ貢献したいとする回答は、回答数の70.97%(積極的参加22.58% / 6事業所、要請参加48.39% / 15事業所)となり、想定を上回る結果となった。
- ② 参加が難しいと回答のあった事業所も、地域に対する気持ちを感じ取ることができる。
- ③ 活動参加への意向は個々異なるが、それぞれの力量に応じた積極的提案となっている。

- ④ 参加を希望する活動の順は、ボランティア活動15、会議12、文化祭7、物品の提供6、体育祭4の順となっている。(複数回答)
- ⑤ 回答率は44, 29%で、半数以上の55, 71%は未回答となり、コミュニティ活動が定着していない状況がうかがえる。
- ⑥ 事業所(団体)を対象とする調査は、これからのコミュニティ活動のあり方を探る上で貴重なデータの一つとなった。

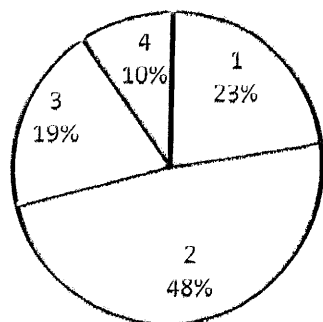
### 5. 総論

コミュニティ活動への参加意向のある事業所(団体)数は、21社(団体)に上り、当初想定していた数を上回る結果となった。このことは、今後コミュニティ協議会が進める各種団体等を含めた地域活動のあり方を検討する上で貴重なデータとなった。

参加可能な活動分野や参加のかたち等、回答のあった内容を分析し、「できることから始める。」を前提とした対応策の具体化を進めていきたい。

回答率が44, 29%にとどまったことについては、今回実施したアンケート調査をもとに改めて実態把握に努め、未回答者に対しても相互理解が得られるよう引き続き呼びかけを行い、ともに活動ができる工夫を重ねていきたい。

### ◇ 地域との活動参加について



参加対応(回答事業所)	事業所数	割合 (%)
1. 積極的参加	7	23%
2. 要請参加	15	48%
3. 参加困難	6	19%
4. その他	3	10%
合計	31	100%

### 質問 2. 参加可能な活動について(複数回答可)

参加活動内容	全体数	件数	割合 (%)
1. ボランティア活動	31	15	48%
2. 会議	31	12	39%
3. 文化祭	31	7	23%
4. 物品の提供	31	6	19%
5. 体育祭	31	4	13%
6. その他	31	3	10%
7. こども食堂	31	1	3%
7. 共同起業	31	1	3%

## まちづくりプラン計画策定の経過

開催日	内 容
平成28年 6月11日	第1回 まちづくりプラン(校区振興計画)概要説明、策定スケジュール説明
平成28年 7月16日	第2回 校区の課題、ビジョン(将来像)、スローガン、ワークショップ内容の検討
平成28年 8月27日	第3回 ワークショップ内容の検討、現状と課題(各専門部)、スローガン(各専門部) 錦江校区の地域資源(文化・歴史・食べ物等)の整理検討
平成28年 9月25日	第4回 ワークショップの検討・まとめ、現状と課題・スローガン(各専門部)集約
平成28年10月30日	第5回 ワークショップの整理、各専門部ごと仕分け分担調整
平成28年11月11日 ～ 11月30日	「まちづくり」のための事業所を対象とするアンケート調査の実施 地域内70事業所(団体)
平成28年11月25日	「まちづくり」のための学校、PTA関係者等を対象とするアンケート調査の実施
平成28年11月27日	第6回 各専門部の現状と課題・スローガンのまとめ、アンケート調査報告
平成28年11月28日 ～ 12月18日	各専門部ごと部内最終調整 (スローガン、基本方針、現状と課題)
平成28年12月23日	第7回 各専門部の現状と課題・スローガン、仕分け、分担等最終調整 アンケート調査報告
平成29年 1月21日	第8回 錦江校区まちづくりプラン(校区振興計画)案の最終検討調整
平成29年 1月29日	第2回 運営委員会。錦江校区まちづくりプラン(校区振興計画)案の協議
平成29年 2月25日	第9回 錦江校区まちづくりプラン(校区振興計画)の報告
平成29年 4月 日	代議員総会。錦江校区まちづくりプラン(校区振興計画)案の提案

## 錦江校区まちづくりプラン策定委員会委員

役 職	氏 名	備 考
総 括	加 治 屋 昭 弘	協議会会長
総 括	松 山 輝 久	協議会副会長
書 記	野 元 則 博	同 事務局長
委 員	西 迫 雅 子	加治木生活学校代表
委 員	山 下 貴 志	自治会長
委 員	石 堂 誠 一 郎	民生委員、スポーツ推進員
委 員	木 場 正 夫	自治会長
委 員	秋 宗 郁 子	民生児童委員、母子保健推進委員
委 員	宮 路 正 文	協議会青少年育成部長
委 員	中 原 房 雄	同 環境安全部長
委 員	大 迫 紀 美 江	同 生涯学習部長
委 員	近 野 仁	同 健康福祉部長